技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号	景観計画	選択科目：
答案使用枚数	枚目　　枚中	専門とする事項：

1．調査、検討すべき事項とその内容

（1）景観特性の把握

地域が有する文化・歴史等の背景を調査する。この背景に基づき、地域が有する潜在的な資源も含め、景観特性を把握する。

（2）景観構成要素の洗い出し

景観の形成に寄与する要素である文化施設、史跡などの歴史資産、自然環境などを調査する。調査にあっては、シーン景観のみでなく、シークエンス景観の抽出や視点場となる箇所も抽出する。

（3）景観行政団体の活動把握

景観の保全活動等を行う団体の有無と、その活動内容・履歴を調査する。

2．業務を進める手順と留意点、工夫点

（1）関連計画および連携事業の整理

自治体の総合計画や都市計画マスタープランなどの上位計画や、文化、環境、観光などの関連計画を整理する。また、無電柱化事業や市街地整備事業などの景観形成に資する都市基盤整備事業との整合や連携の可能性などハード施策との関連性を調査する。

（2）課題抽出と分析

課題抽出に際しては、景観資源が十分活用されているか定量的に評価するとともに、持続可能な維持・管理・運営が適切に行われているかなど体制面、制度面の観点からも分析する。

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字

技術士　第二次試験　模擬答案用紙

受験番号		技術部門
問題番号	景観計画	選択科目：
答案使用枚数	枚目　　枚中	専門とする事項：

（３）景観創出の基本方針検討

基本方針の策定にあたっては、住民が能動的に意見を発信できるよう工夫する。また、官民問わず施設管理者と協議し、景観形成のビジョンを共有する。これらプロセスにより、施策の推進が円滑化される。

（４）景観形成を行うべき地域の抽出

現状や景観資源のポテンシャルを勘案し、景観形成を促進すべき地域を抽出する。また、推進すべき地域の優先順位付けを行い、事業推進の効率化を図る。

（５）施策の検討

客観的かつ合理的なデータを駆使して、住民や関係者との合意形成を図りながら、施策の立案をする。

（６）関係者の取り組みと役割分担の検討

行政や施設管理者の役割分担を明確にしたうえで、それぞれの取り組み体系化する。

（７）定量的な目標値などの検討

成果については、定量的な目標値に加え、住民が評価するための定性的な基準も設けるよう工夫する。

（８）目標達成状況に関する評価方法の検討

ＰＤＣＡサイクルを取り入れ、効果を高め続ける。

３．関係者との調整方策

関係部署や施設管理者に対しては、客観的な情報に基づいて意見交換や調整を実施する。住民に対しては、一方的な情報提供ではなく、懇談会やワークショップを通じて双方向かつ具体的に調整する。

以上

●裏面は使用しないで下さい。　●裏面に記載された解答は無効とします。　24字×25字